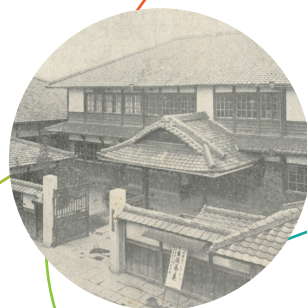


— 京都に眠る「児童本位」の教育の世界 —

京都市における 新教育の軌跡

第29回 NIE全国大会京都大会開催記念



写真は右上から時計まわりで
① 第二高等小学校校舎 (1918年頃)
② 明倫校校舎 (1930年頃)
③ 日影校校舎 (1918年頃)
④ 北白川校校舎 (1918年頃)
⑤ 修道校校舎 (1921年)

令和6年
(2024)

6月22日(土) ~ 9月16日(月・祝)

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)

休館日 毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)

入館料 大人400(320)円 小・中・高生150(120)円

※()は20名以上の団体料金

※京都市内の小・中学生は土曜日・日曜日入館無料



京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History



第29回 NIE全国大会京都大会開催記念

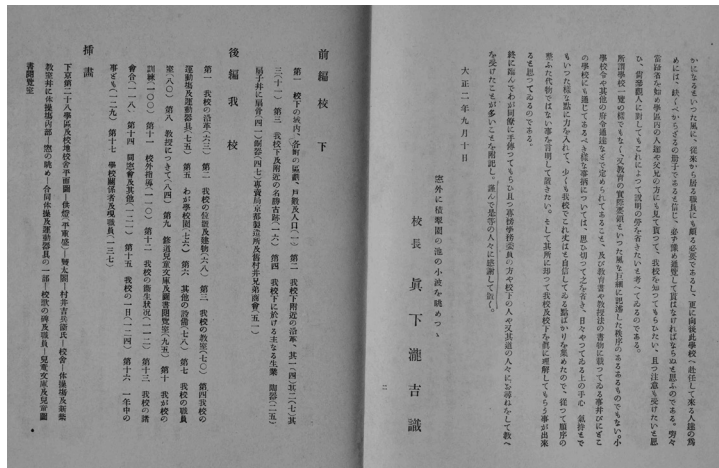
京都市における新教育の軌跡
- 京都に眠る「児童本位」の教育の世界 -

「新教育」とは、狭義には子ども自身の行動や生活、関心、そして気持ちを重視した教育の取組のことを言い、日本では主に大正期、さらには戦後以降に追究が本格化した、注目すべき教育実践と捉えられます。そして実は京都市は、この新教育の歴史においても、重要な位置を占める場所であり、その結果京都市では、新教育に関する多様な実践の数々が、数多くの教師たちの手で蓄積されていくことになりました。しかしこうした京都市の教育史の大切な一面は、これまでも注目を集め、十分に調査・研究が進められてきたとは、決して言えないのが現状です。

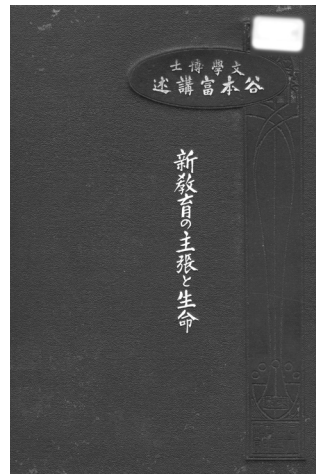
この企画展は、そんな注目すべき教育実践の歴史と、その歴史をめぐる教師たちのドラマ、つまり「京都市における新教育の軌跡」を辿る展覧会です。

なお、本展覧会では、第29回 NIE 全国大会京都大会の開催を記念して、京都の NIE の歴史に関連する史料や、NIE と新教育の関連を示す注目すべき史料などを展示するコーナーも設置します。

※ NIE (Newspaper in Education) とは、日本語で「教育に新聞を」と訳される、学校などで新聞を教材として活用する活動のことを言います。



我校及校下（真下瀧吉編、京都市修道尋常小学校発行、1913年）



新教育の主張と生命（再版）
（谷本富著、六盟館、1909年）



尚徳中学校新聞 創刊号（京都市立尚徳中学校報道班発行、1948年7月17日）

関連イベント

講演会：新教育とNIE

— 京都市の教育実践の歴史を例に考える —

日 時：令和6(2024)年6月29日（土）
14:00～15:30

講 師：林 潤平（京都市学校歴史博物館学芸員）
会 場：京都市学校歴史博物館 3階講義室
定 員：50名（要申込／先着順）

申込方法

① イベント名、② 参加代表者氏名（ふりがな）、
③ 代表者の電話番号、④ 参加希望人数を明記のうえ、
電話・FAX・Eメールのいずれかでお申込みください。

電話：075-344-1305 FAX：075-344-1327

Eメール：rekihaku-jigyou@edu.city.kyoto.jp

阪 急…京都河原町駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ
京 阪…祇園四条駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ
地下鉄…烏丸線四条駅 徒歩約12分 5番出口から東へ
市バス…四条河原町 徒歩約10分 南西へ
市バス…河原町松原 徒歩約5分 北西へ

駐車場は
ありませんので、
公共交通機関を
御利用ください。



京都市学校歴史博物館
Kyoto Municipal Museum of School History



〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437 TEL.075-344-1305 ※水曜休館

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ

学校歴史博物館



※正門（御幸町通側）からお入りください